

9月20日（月・祝） A会場（国立京都国際会館 1階 メインホール）

8:30~9:30 教育講演 27

司会：長 徹二 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

EL27 ギャンブル障害の実態と対策

○樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター



9:30~10:30 教育講演 28

司会：神庭 重信 日本うつ病センター、医療法人栗山会飯田病院、九州大学名誉教授

EL28 臨床現場の疑問に答える

○神田橋 條治

伊敷病院



受賞報告会

11:05 ~ 12:05

1. 精神医学奨励賞

司会：群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

福田 正人

東京大学精神神経科、カリフォルニア大学サンディエゴ校精神科 越山 太輔

2. 国際学会発表賞

司会：医療法人鴻池会秋津鴻池病院

岸本 年史

・個人発表部門

京都大学医学部附属病院精神科神経科 磯部 昌憲

・シンポジウム組織部門

昭和大学発達障害医療研究所 青木 悠太

3. 若手国際シンポジウム発表賞

司会：医療法人鴻池会秋津鴻池病院

岸本 年史

医療法人イプシロンつくば心療内科クリニック・水戸メンタル駅前分院 矢野 幹一良

岡山県精神科医療センター 宋 龍平

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野 佐々木 祥乃

奈良県立医科大学精神医学講座 岡崎 康輔



4. フォリア賞

司会：九州大学名誉教授
順天堂大学医学部附属病院精神医学教室

神庭 重信
加藤 忠史

医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニック梅田本院 安田 由華

5. PCN Reviewer Awards

司会：九州大学名誉教授
順天堂大学医学部附属病院精神医学教室

神庭 重信
加藤 忠史

目白大学保健医療学部 重村 淳
大分大学医学部精神神経医学講座 寺尾 岳
東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 西 大輔
国立研究開発法人国立精神・神経研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター 大久保 亮
順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院メンタルクリニック 馬場 元
大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科臨床支援系領域 石井 良平
産業医科大学精神医学 吉村 玲児

13:40~14:40 **先達に聴く 3**

司会：石原 武士 川崎医科大学精神科学教室

PM3

精神科臨床のなかで50有余年 —森田神経質の提唱—

○牛島 定信
市ヶ谷ひろぎクリニック



14:40~15:40 **先達に聴く 4**

司会：石井 良平 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科

PM4

統合失調症の基本障害は主体性の障害

○小島 卓也
大宮厚生病院



15:50~17:50 **シンポジウム 37**

最新の治療エビデンスの紹介(メタアナリシスを中心に)

司会：竹内 啓善 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
田近 亜蘭 京都大学大学院医学研究科

S37-1

EBMにおける系統的レビュー・メタアナリシスの重要性、EBM実践の手順、これからのEBMの展望について

○小川 雄右
京都大学大学院医学研究科

S37-2 抗うつ薬治療の最新のエビデンス

○田近 亜蘭

京都大学大学院医学研究科

S37-3 急性期統合失調症に対する抗精神病薬治療の最新のエビデンス

○岸 太郎

藤田医科大学医学部精神神経科学講座

S37-4 維持期統合失調症に対する抗精神病薬治療の最新のエビデンス

○谷 英明

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈コーディネーター〉 田近 亜蘭 京都大学大学院医学研究科
竹内 啓善 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
小川 雄右 京都大学大学院医学研究科



9月20日（月・祝） B会場（国立京都国際会館 1階 Room A）

8:30~10:30 シンポジウム 38
精神科治療の批判から今後の精神科医療を考える

司会：堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座

S38-1 精神科受診すると大量の薬が処方されるのでは？

○稲田 健
東京女子医科大学

S38-2 ECT は科学的な治療か？

○諏訪 太朗
京都大学医学部附属病院

S38-3 ベンゾジアゼピン受容体作動薬の長期処方中止すべきか？

○高江洲 義和
琉球大学

S38-4 抗認知症薬は投与すべきなのか？

○馬場 元^{1,2}
¹順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、²順天堂大学大学院医学研究科精神行動科学講座

S38-5 精神科デイケアは効果があるのか

○飯田 仁志、後藤 玲央、永野 健太、衛藤 暢明、川崎 弘詔
福岡大学医学部精神医学教室

〈コーディネーター〉堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室

10:40~12:40 シンポジウム 39
新型コロナウイルス感染症流行下におけるメンタルヘルスへの応急処置介入方法の開発

司会：中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
西 大輔 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

S39-1 新型コロナウイルス感染症に対する精神保健および精神科医療機関の取り組みの現状と今後

○中尾 智博
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S39-2 災害時・コロナ禍でのメンタルヘルスクリーニング・トリアージについて

○高橋 晶^{1,2,3}
¹筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、²茨城県立こころの医療センター、³筑波メディカルセンター病院精神科

S39-3 The Johns Hopkins Guide to Psychological First Aid (PFA) の紹介

○大矢 希^{1,3}、堀之内 徹^{2,3,4}
¹京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学、²北海道大学大学院医学研究院神経病態学講座精神医学教室、³認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会(JYPO)、⁴市立稚内病院

S39-4 精神保健福祉センター職員向けの簡易型・低強度認知行動療法マニュアルの概要の紹介

○村山 桂太郎¹、中尾 智博²
¹九州大学病院精神科神経科、²九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S39-5 新型コロナウイルス流行下のメンタルヘルスを保つオンラインでの取り組み

○萱間 真美¹、瀬戸屋 希¹、小林 大輝²、木戸 芳史³、青木 裕見¹¹聖路加国際大学大学院看護学研究科、²聖路加国際大学公衆衛生大学院、³浜松医科大学

〔指定発言〕

久我 弘典

国立精神・神経医療センター認知行動療法センター

西 大輔

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

〈コーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

13:40~15:40 シンポジウム 40
ゲノム医科学の進展と精神科臨床司会：池田 匡志 藤田医科大学医学部
金沢 徹文 大阪医科薬科大学神経精神医学教室

S40-1 非精神疾患におけるファーマコゲノミクス

○蒔田 泰誠

理化学研究所生命医科学研究センター

S40-2 遺伝的な重なり合いから考える精神科診断

○金沢 徹文

大阪医科薬科大学神経精神医学教室

S40-3 精神疾患のPharmacogenomics - 遺伝情報を薬剤選択にどう利用するのか -

○加藤 正樹

関西医科大学医学部精神神経科学講座

S40-4 精神疾患の「ポリジェニック構造」を基盤とした新たな方法論とその臨床応用

○池田 匡志

藤田医科大学医学部精神神経科学

〈コーディネーター〉 池田 匡志 藤田医科大学医学部
金沢 徹文 大阪医科薬科大学神経精神医学教室15:50~17:50 委員会シンポジウム 13 (国際委員会)
International responses to COVID-19

Chairperson : Tsuyoshi Akiyama NTT Medical Center, Tokyo

CS13-1 Psychiatry in the Time of COVID

○Vivian B. Pender^{1,2}¹American Psychiatric Association、²Weill Cornell Medical College

CS13-2 Covid 19 : News from France

○Gisèle Apter^{1,2}¹French Psychiatric Information Society、²GHH, University Rouen Normandy



CS13-3

Impact of the Pandemic in Mexico. Forging the Road to Recovery

○Bernardo Ng^{1,2,3}

¹Mexican Psychiatric Association, ²Sun Valley Behavioral and Research Ctrs, ³Centro Geri trico Nuevo Atardecer

CS13-4

Ranzcp Response to the COVID-19 Pandemic

○Vinay Lakra^{1,2}

¹Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists,

²North West Area Mental Health Service, North Western Mental Health

CS13-5

Presidential Priorities and the Pandemic

○Adrian James^{1,2}

¹Royal College of Psychiatrists, ²Devon Partnership NHS Trust

CS13-6

Countermeasures of Japanese psychiatric communities against the COVID-19 pandemic

○Hiroaki Tomita^{1,2,3}

¹Japanese Society of Psychiatry and Neurology,

²Department of Disaster Psychiatry, International Research Institute of Disaster Science, Tohoku University,

³Department of Psychiatry, Graduate School of Medicine, Tohoku University

〈Coordinator〉 Tsuyoshi Akiyama : NTT Medical Center, Tokyo

9月20日（月・祝） C会場（国立京都国際会館 1階 Room B-1）

8:30~10:30

シンポジウム 41

せん妄の機序・病態の追求とそれに基づく発症予測・予防・治療方略

司会：八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院
岸 泰宏 日本医科大学附属武蔵小杉病院

S41-1

せん妄予防方略における睡眠覚醒サイクル障害と時間薬理学的アプローチ

○八田 耕太郎¹、岸 泰宏⁷、和田 健⁵、竹内 崇⁸、橋本 直子²、須田 潔子³、平 俊浩⁴、土田 和生⁹、大森 隆史²、秋月 伸哉³、西尾 優子³、中西 幸子³、白井 千恵¹、倉田 明子¹⁰、堀川 直希⁶、江口 寛⁶、伊藤 滋朗⁷、武藤 仁志⁸、内村 直尚⁶

¹順天堂大学医学部附属練馬病院、²徳島県立中央病院、³都立駒込病院、⁴福山市民病院、⁵広島市立広島市民病院、

⁶久留米大学医学部神経精神医学講座、⁷日本医科大学附属武蔵小杉病院、

⁸東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野、⁹財団法人倉敷中央病院、

¹⁰広島大学大学院医歯薬保健学研究院精神神経医学

S41-2

神経炎症仮説からみたせん妄の病態生理

○門司 晃

佐賀大学医学部精神医学講座

S41-3

せん妄の神経生理学的側面

○千葉 茂

旭川医科大学医学部精神医学講座

S41-4

Bispectral EEGを用いたせん妄の検出デバイスの開発、および動物モデルへの応用

○篠崎 元

スタンフォード大学医学部精神科

【指定発言】

岸 泰宏

日本医科大学附属武蔵小杉病院

〈コーディネーター〉 八田 耕太郎 順天堂大学医学部附属練馬病院

10:40~12:40

シンポジウム 42

ガイドラインを通して考えるがん患者の精神心理的支援の推進

司会：稲垣 正俊 島根大学医学部精神医学講座
奥山 徹 名古屋市立大学大学院医学研究科

S42-1

ガイドラインを通して、がん患者のせん妄を支援する

○北浦 祐一¹、吉村 匡史^{2,3}、松田 能宜⁴、奥山 徹⁵

¹パナソニック健康保険組合松下記念病院精神神経科、²関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科、

³関西医科大学総合医療センター精神神経科、⁴近畿中央呼吸器センター呼吸器腫瘍内科、

⁵名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S42-2

がん患者の家族・遺族に対する効果的な精神心理的支援法の開発：家族・遺族ケアガイドライン

○久保田 陽介

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

S42-3

ガイドライン作成で浮かんだ課題を解決する-術後せん妄予防におけるラメルテオンの有用性に関するRCT提案-

○貞廣 良一、松岡 弘道

国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科



S42-4 エビデンスのある介入を実装する：統合失調症患者に対するがん検診勧奨法の開発

○藤原 雅樹

岡山大学病院精神科神経科

〈コーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科
奥山 徹 名古屋市立大学大学院医学研究科

13:40~15:40 シンポジウム 43

社会実装化や当事者の視点などを踏まえた Shared Decision Making (SDM) の今後の可能性

司会：渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
高江洲 義和 琉球大学

S43-1 精神科領域における Shared Decision Making のこれまでとこれから

○渡邊 衡一郎

杏林大学医学部精神神経科学教室

S43-2 精神科 SDM における Decision Aid の活用

○青木 裕見

聖路加国際大学大学院看護学研究科

S43-3 精神科医療における満足度の向上および治療関係改善に資する治療方針決定のあり方とは

○松長 麻美^{1,2}、佐竹 直子³、山口 創生¹、藤井 千代¹

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部、²北村メンタルヘルス研究所、³国立精神・神経医療研究センター病院

S43-4 SDM の普及と実装化に向けて

○高江洲 義和

琉球大学

〔指定発言〕

五十嵐 信亮

財団法人竹田総合病院

〈コーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

15:50~17:50 シンポジウム 44

全国の精神保健福祉センターにおける自殺対策の取り組み

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
大塚 耕太郎 岩手医科大学

S44-1 自殺対策の中で実施される住民意識調査について

○波床 将材

京都市こころの健康増進センター

S44-2 コロナ禍における横浜市の自殺対策

○白川 教人

横浜市健康福祉局こころの健康相談センター

S44-3 川崎市自殺未遂者支援地域連携モデルの実現可能性に関する調査

○竹島 正¹、張 賢徳²、岸 泰宏³、高井 美智子⁴、廣田 菜津子¹、橋本 貢河⁵

¹川崎市精神保健福祉センター、²帝京大学医学部附属溝口病院、³日本医科大学武蔵小杉病院、⁴埼玉医科大学附属病院、⁵川崎市健康福祉局精神保健課

S44-4 自殺未遂者支援事業の十年を振り返る

○喜多村 祐里、鈎 木綿子、金森 かずみ
大阪市こころの健康センター

S44-5 三重県の自死遺族支援について

○楠本 みちる¹、中西 園弓¹、芝田 伊津子¹、野殿 照子²
¹三重県こころの健康センター、²三重いのちの電話協会

S44-6 浜松市におけるグリーフサポートの取り組み

○二宮 貴至¹、白川 教人²
¹浜松市精神保健福祉センター、²横浜市健康福祉局こころの健康相談センター

S44-7 札幌市における自死遺族支援の取組

○鎌田 隼輔
札幌市精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
田中 治 青森県立精神保健福祉センター



9月20日（月・祝） D会場（国立京都国際会館 1階 Room B-2）

8:30~10:30

シンポジウム 45

マインドフルネスはなぜ効くのか？ —こころと脳の立場から考察する—

司会： 貝谷 久宣 心療内科・神経科赤坂クリニック
岡本 泰昌 広島大学大学院医歯薬保健学研究院精神神経医科学

S45-1 マインドフルネスはなぜ効くのか？あがり症を克服した臨床医が伝えたいこと

○林 紀行
仁泉会病院

S45-2 マインドフルネス認知療法は、なぜ効果を発揮するのか？ -嫌悪、脱中心化といった心理学的観点からの考察-

○佐渡 充洋
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S45-3 マインドフルネス介入によってマインドワンダリングの脳波指標はどう変化するか

○熊野 宏昭¹、高橋 徹¹、川島 一朔²
¹早稲田大学人間科学学術院、²ATR 国際電気通信基礎技術研究所

S45-4 マインドフルネスと経頭蓋直流電気刺激法

○西田 圭一郎
関西医科大学医学部精神神経科学講座

〈コーディネーター〉 佐渡 充洋 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
西田 圭一郎 関西医科大学医学部精神神経科学講座

10:40~12:40

委員会シンポジウム 14（司法精神医学委員会）

「覚えていない」と訴える事例の刑事精神鑑定

司会： 川壽 弘詔 福岡大学医学部精神医学教室
今井 淳司 松沢病院

CS14-1 アルコール関連障害による健忘をめぐる

○五十嵐 禎人
千葉大学社会精神保健教育研究センター

CS14-2 司法精神医学の文脈からみた「てんかん」と「記憶」

○安藤 久美子
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

CS14-3 解離性障害（解離性同一性障害）にて完全責任能力とされた精神鑑定事例

○吉岡 真吾
愛知県精神医療センター

CS14-4 「覚えていない」と訴える事例の刑事精神鑑定総論

○村松 太郎
慶應義塾大学医学部精神神経科

〈コーディネーター〉 五十嵐 禎人 千葉大学社会精神保健教育研究センター

13:40~15:40 **委員会シンポジウム 15** (精神医療・保健福祉システム委員会)
これからの「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」～いわゆる「にも包括」を考える～

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
山下 俊幸 京都府立洛南病院

CS15-1 **精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について**

○友利 久哉
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課

CS15-2 **自治体の精神保健からみた精神障害にも対応した地域包括ケアシステム**

○野口 正行
岡山県精神保健福祉センター

CS15-3 **これからの「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」ー民間精神科病院の立場から**

○櫻木 章司
桜樹会桜木病院

CS15-4 **多機能型精神科診療所での実践から**

○三家 英明
医療法人三家クリニック

CS15-5 **生命モデルに基づく当事者エンパワメントとインクルーシブな地域創り**

○加藤 博史
龍谷大学

〈コーディネーター〉 臼杵 理人 医療法人社団薫風会山田病院、一般社団法人日本うつ病センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター
山下 俊幸 京都府立洛南病院

15:50~17:50 **シンポジウム 46**
身体症状症および関連症群の治療ー長期的な視点から考えるー

司会：明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野
富永 敏行 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

S46-1 **身体症状症の外来患者の長期的な治療転帰に関する研究**

○小川 奈保、岡本 恵、藤澤 なすか、名越 泰秀
京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

S46-2 **身体症状症および関連症群の再燃をめぐってー薬物療法の立場からー**

○名越 泰秀
京都第一赤十字病院精神科(心療内科)

S46-3 **身体症状症の個人認知行動療法の臨床試験の取組 (対面からオンラインまで)**

○清水 栄司^{1,2,3}

¹千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、²千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、
³千葉大学医学部附属病院認知行動療法センター

S46-4 **慢性疼痛患者に対するアクセプタンス&コミットメント・セラピー：継続的なQOLの拡大と維持を目指して**

○酒井 美枝^{1,2}

¹名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学、²名古屋市立大学病院いたみセンター

〈コーディネーター〉 名越 泰秀 京都第一赤十字病院精神科(心療内科)



9月20日（月・祝） E会場（国立京都国際会館 1階 Room C-1）

8:30~10:30

シンポジウム 47

精神医療人材育成の変革を目指して：課題解決型高度医療人材養成プログラムの効果検証・普及・実践への展開

司会：笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

S47-1

「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」

○明智 龍男¹、近藤 真前¹、小川 成²

¹名古屋市立大学大学院医学研究科、²名古屋市立大学大学院人間文化研究科

S47-2

精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成（PsySEPTA）の取り組み

○渡部 衣美¹、根本 清貴²、太刀川 弘和³、山川 百合子⁴、繁田 雅弘⁵、新井 哲明²

¹筑波大学附属病院、²筑波大学医学医療系精神医学、³筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、⁴茨城県立医療大学、⁵東京慈恵会医科大学精神医学講座

S47-3

「メンタルサポート医療人とプロの連携養成」からCBTラーニングへ

○清水 栄司^{1,2,3}

¹千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学、²千葉大学子どものこころの発達教育研究センター、³千葉大学医学部附属病院認知行動療法センター

S47-4

東京大学・価値に基づく支援者育成（TICPOC）から医学のダイバーシティへ

○里村 嘉弘^{1,2}、金原 明子¹、佐々木 理恵¹、大下 智子¹、森田 健太郎¹、上瀬 大樹¹、近藤 伸介¹、熊倉 陽介^{1,5}、宮本 有紀³、熊谷 晋一郎⁴、笠井 清登^{1,2}

¹東京大学医学部附属病院、²東京大学大学院医学系研究科医学のダイバーシティ教育研究センター、³東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野、⁴東京大学先端科学技術研究センター、⁵東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

S47-5

2020年度「発達症への介入による国民的健康課題の解決」（京都大学）における事業展開

○義村 さや香

京都大学医学研究科人間健康科学系専攻

〈コーディネーター〉 笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

10:40~12:40

シンポジウム 48

これからのアウトリーチの人材育成を考える —利用者中心の多職種協働—

司会：岡崎 公彦 岡崎クリニック

渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

S48-1

多機能型精神科診療所でのアウトリーチの経験

○三家 英明

医療法人三家クリニック

S48-2

地域で活動する看護師の育成と多職種連携

○東 美奈子

訪問看護ステーション Relisa

S48-3

ソーシャルワーカーの視点から地域ケアとアウトリーチを再考する

○金井 浩一

一般社団法人ライフラボ相談支援事業所しほふぁーれ

S48-4

但馬地域におけるピアサポーターによるアウトリーチ

○柳 尚夫

兵庫県豊岡保健所

【指定発言】

伊藤 順一郎

メンタルヘルス診療所しっぽふあーれ

〈コーディネーター〉 岡崎 公彦 岡崎クリニック
渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

13:40～15:40 シンポジウム 49

急性期病院におけるせん妄対策の新たな展開とその取り組み ～せん妄ハイリスク患者ケア加算新設を踏まえて～

司会：小川 朝生 国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野、国立がん研究センター東病院
谷向 仁 京都大学

S49-1 せん妄の薬物療法の限界と予防の重要性 Overview

○谷向 仁

京都大学

S49-2 せん妄ハイリスク患者ケア加算新設を踏まえたせん妄対策 DELTAプログラムの取り組み

○小川 朝生^{1,2}¹国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野、²国立がん研究センター東病院

S49-3 急性期病院におけるせん妄ハイリスク患者ケア加算の運用のノウハウ -大学病院の立場から-

○井上 真一郎

岡山大学病院精神科神経科

S49-4 急性期総合病院におけるせん妄ハイリスク加算算定の実際

○上村 恵一

国家公務員共済組合連合会斗南病院

〈コーディネーター〉 谷向 仁 京都大学
小川 朝生 国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野、国立がん研究センター東病院

15:50～17:50 シンポジウム 50

摂食障害の連携指針と簡易治療プログラムの研究開発

司会：安藤 哲也 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部
井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

S50-1 摂食障害の治療支援ネットワークの指針と簡易治療プログラムの開発の背景と概要

○安藤 哲也

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部

S50-2 「精神科領域における摂食障害の連携指針」の作成と活用について

○山内 常生、原田 朋子、宮本 沙緒里、井上 幸紀

大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

S50-3 身体科領域における摂食障害診療のための連携指針の作成

○吉内 一浩

東京大学大学院医学系研究科ストレス防御・心身医学



S50-4 神経性やせ症初期診療の手引き

○高倉 修
九州大学病院心療内科

S50-5 過食症の簡易版セルフヘルプ治療プログラムの開発～インターネットを用いたセルフヘルプ認知行動療法～

○大迫 鑑顕^{1,2}、木村 大^{1,2}、Tony Lam³、細田 豊¹、橋本 佐^{1,2}、稲葉 洋介⁴、伊豫 雅臣²、中里 道子^{1,2}
¹国際医療福祉大学成田病院精神科、²千葉大学大学院医学研究院精神医学教室、³Net Union, Lausanne, Switzerland、⁴千葉大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 井上 幸紀 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学
安藤 哲也 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部

9月20日（月・祝） F会場（国立京都国際会館 1階 Room C-2）

8:30~10:30

シンポジウム 51

救命救急センターに搬送される自殺企図者に対する精神科医の役割

司会：宮岡 等 北里大学
 河西 千秋 札幌医科大学医学部神経精神医学教室

S51-1 救命救急センターを拠点とする自殺未遂者対応 -近年の傾向およびCOVID-19流行がもたらした変化-

○日野 耕介^{1,2}、宮崎 秀仁¹、伊藤 翼^{1,2}、野本 宗孝^{1,2}、古野 拓^{1,2}、菱本 明豊¹¹横浜市立大学精神医学教室、²横浜市立大学附属市民総合医療センター

S51-2 救急医が精神科医に望むこと

○久村 正樹

埼玉医科大学総合医療センター救急科(ER)

S51-3 自殺企図で救命救急センターに搬送される重症患者の臨床的特徴と対応

○石井 貴男、河西 千秋

札幌医科大学医学部神経精神医学講座

S51-4 自殺企図で搬送される急性薬物中毒患者の最近の傾向と対応

○新井 久稔¹、星野 俊弥²、石田 匡宏²、宮岡 等²¹埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科、²北里大学医学部精神科学

〈コーディネーター〉 宮岡 等 北里大学
 日野 耕介 横浜市立大学精神医学教室、横浜市立大学附属市民総合医療センター
 新井 久稔 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

10:40~12:40

シンポジウム 52

自己破壊的行動へのアプローチ:治療継続と治療効果のバランスをいかにしてとるか?

司会：宮岡 等 北里大学医学部精神科学
 山下 達久 からすま五条・やましたクリニック

S52-1 自己破壊的で嗜癖な問題行動とどう向き合うか?—自殺の保護的因子にして危険因子としてのアディクション

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター

S52-2 動機づけ面接という人との関わり方

○原井 宏明^{1,2}¹原井クリニック、²(株)原井コンサルティング&トレーニング

S52-3 境界性パーソナリティ障害と摂食障害の地域社会での治療の試み

○武田 綾

特定非営利活動法人のびの会

S52-4 自己破壊的行動に至る生きづらさを抱える人へのメンタライジング・アプローチ

○崔 炯仁

いわくら病院



S52-5

Validation

○永田 利彦

壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈コーディネーター〉 永田 利彦
宮岡 等

壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック
北里大学医学部精神科学

13:40~15:40

委員会シンポジウム 16 (精神医学研究推進委員会)

精神医学における研究方法の特徴を改めて考える ~身体医学との異同に注目して~

司会：笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

CS16-1

動物モデルにおける壁~身体医学の生物医学と精神医学の基礎科学の相違~

○柳下 祥

東京大学

CS16-2

評価における壁~当事者と臨床家における評価の相違~

○竹内 啓善

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

CS16-3

D&Iにおける壁 ~臨床試験エビデンスと実臨床の相違~

○藤森 麻衣子

国立がん研究センター社会と健康研究センター

CS16-4

当事者、家族とともに地域精神保健医療福祉の実践におけるアウトカムを探る

○藤井 千代

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 笠井 清登
竹内 啓善

東京大学大学院医学系研究科精神医学分野
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

15:50~17:50

シンポジウム 53

向精神薬開発の現状と展望 ~これからどのような薬が現れるのか?~

司会：馬場 元 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、順天堂大学大学院医学研究科精神行動科学講座
加藤 正樹 関西医科大学医学部精神神経科学講座

S53-1

これから現れる抗精神病薬

○内田 裕之

慶應義塾大学医学部

S53-2

これからどのような薬が現れるのか? うつ病・抑うつ状態

○加藤 正樹

関西医科大学医学部精神神経科学講座

S53-3

自主臨床試験/医師主導治験による自閉スペクトラム症中核症状治療薬の開発

○山末 英典

浜松医科大学精神医学講座

S53-4

認知症治療薬の開発の現状

○馬場 元^{1,2}

¹順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、²順天堂大学大学院医学研究科精神行動科学講座

〈コーディネーター〉 馬場 元

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、順天堂大学大学院医学研究科精神行動科学講座



9月20日（月・祝） G会場（国立京都国際会館 1階 Room D）

8:10~9:50

ワークショップ 10

<脳波の基礎コース>精神科医が脳波を学ぶために

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学
太田 克也 恩田第2病院

WS10

<講演者>

山内 俊雄 埼玉医科大学
矢部 博興 福島県立医科大学医学部
原 恵子 原クリニック
渡邊 さつき 埼玉医科大学
高木 俊輔 東京医科歯科大学

<コーディネーター> 矢部 博興 福島県立医科大学医学部
山内 俊雄 埼玉医科大学
太田 克也 恩田第2病院

9:55~11:35

ワークショップ 11

<脳波の応用コース>精神科医が脳波を臨床に生かすために

司会：山内 俊雄 埼玉医科大学
矢部 博興 福島県立医科大学医学部

WS11

<講演者>

山内 俊雄 埼玉医科大学
太田 克也 恩田第2病院
原 恵子 原クリニック
渡邊 さつき 埼玉医科大学
高木 俊輔 東京医科歯科大学

<コーディネーター> 矢部 博興 福島県立医科大学医学部
山内 俊雄 埼玉医科大学
原 恵子 原クリニック

11:40~12:40

教育講演 29（精神医療・保健福祉システム委員会）

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

EL29

地域共生社会のために精神医療ができること

○藤井 千代
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター



~~13:40-15:20~~**ワークショップ 12 開催中止**

リエゾン精神科医が直面する倫理的課題 —生命を脅かす疾患の治療を拒否する患者へのアプローチ—

司会：西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座
 和田 健 広島市立広島市民病院

WS12

〈講演者〉

川下 芳雄 広島市立広島市民病院
 高野 公輔 東京女子医科大学医学部精神医学講座
 清水 研 がん研有明病院
 池原 毅和 東京アドヴォカシー法律事務所
 瀧本 禎之 東京大学医学部附属病院患者相談・臨床倫理センター

〈コーディネーター〉 西村 勝治 東京女子医科大学医学部精神医学講座
 和田 健 広島市立広島市民病院

15:25~17:05

ワークショップ 13 (精神神経学雑誌編集委員会)

研究のまとめ方、論文の書き方 —精神神経誌への投稿のために—

司会：大森 哲郎 社会医療法人あいざと会藍里病院あいざと精神医療研究所
 細田 眞司 ころの診療所細田クリニック

WS13

〈講演者〉

古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座
 久住 一郎 北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座精神医学分野
 佐々木 雅明 虎の門病院
 板橋 登子 神奈川県立精神医療センター
 瀧川 裕美子 社会医療法人あいざと会藍里病院

〈コーディネーター〉 大森 哲郎 社会医療法人あいざと会藍里病院あいざと精神医療研究所
 細田 眞司 ころの診療所細田クリニック

17:10~18:10

教育講演 30

司会：繁田 雅弘 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科

EL30

うつ病の原因遺伝子の発見 —ヒトヘルペスウイルス6 (HHV-6) SITH-1によるうつ病発症—

○近藤 一博
 東京慈恵会医科大学





9月20日（月・祝） H会場（国立京都国際会館 1階 Room E）

8:10~9:50 **ワークショップ 14**（精神療法委員会）
映像で学ぶ初診面接—身体症状症編—

司会：水野 雅文 東京都立松沢病院
加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック

WS14 <講演者> 池田 暁史 文教大学
中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
藤山 直樹 個人開業、上智大学名誉教授
中村 敬 東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科

<コーディネーター> 池田 暁史 文教大学
菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

9:55~11:35 **ワークショップ 15**
論文投稿査読の実際：生の体験を聴こう

司会：鈴木 健文 山梨大学医学部精神神経医学講座

WS15 <講演者> 鈴木 健文 山梨大学医学部精神神経医学講座
竹内 啓善 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
内田 裕之 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

<コーディネーター> 鈴木 健文 山梨大学医学部精神神経医学講座

11:40~12:40 **教育講演 31**

司会：池田 俊一郎 関西医科大学医学部精神神経科学講座

EL31 **精神科の診断および治療の質の向上を目指した経頭蓋磁気刺激の臨床応用**
○野田 賀大
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室



13:40~15:20 **ワークショップ 16**
エビデンスに基づく医療のための文献検索の方法

司会：田近 亜蘭 京都大学大学院医学研究科

WS16 <講演者> 小川 雄右 京都大学大学院医学研究科

<ファシリテーター> 鈴木 航太 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
大矢 希 京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
佐竹 祐人 大阪大学大学院医学研究科精神医学教室

<コーディネーター> 田近 亜蘭 京都大学大学院医学研究科
小川 雄右 京都大学大学院医学研究科

※参加ご希望の方は各自ネットワークに接続できるPC・タブレット端末等をご持参ください。

15:25~17:05

ワークショップ 17

エビデンスが乏しい分野や作りにくい分野にどう対応するのが望ましいか？

司会：堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

WS17

- 〈講演者〉 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室
 堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
- 〈ファシリテーター〉 畑中 聡仁 福岡大学医学部精神医学教室
 増田 将人 福岡大学医学部精神医学教室
 香月 あすか 社会福祉法人二丈福祉会
 阿竹 聖和 NTT西日本九州健康管理センター
 小山 敦史 医療法人内海慈仁会有馬病院
- 〈コーディネーター〉 堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
 衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室

17:10~18:10

教育講演 32

司会：笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻臨床神経精神医学講座

EL32

パーソナルな幸福をめざす精神医療 —精神科医としての喜びを考える—○藤山 直樹^{1,2}¹個人開業、²上智大学名誉教授



9月20日（月・祝） | 会場（国立京都国際会館 1階 さくら）

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 17（法委員会）**
旧優生保護法と精神科医

司会：三野 進 みのクリニック
岡崎 伸郎 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

CS17-1 旧優生保護法への精神科医の関与に関する調査研究について

○竹島 正¹、後藤 基行²、中村 江里³、三野 進⁴、太田 順一郎⁵、中島 直⁶、佐藤 真弓⁷、早苗 麻子⁸、富田 三樹生⁶

¹川崎市精神保健福祉センター、²立命館大学、³広島大学、⁴みのクリニック、⁵岡山市精神保健福祉センター、⁶医療法人社団新新会多摩あおば病院、⁷医療法人ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック、⁸萌クリニック

CS17-2 公文書にみる旧優生保護法の運用実態と精神科医

○後藤 基行¹、中村 江里²、竹島 正³、三野 進⁴、太田 順一郎⁵、中島 直⁶、佐藤 真弓⁷、早苗 麻子⁸、富田 三樹生⁶

¹立命館大学大学院先端総合学術研究科、²広島大学、³川崎市精神保健福祉センター、⁴みのクリニック、⁵岡山市こころの健康センター、⁶医療法人社団新新会多摩あおば病院、⁷医療法人ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック、⁸萌クリニック

CS17-3 精神科医と優生政策：先行研究レビューと言説分析

○中村 江里¹、後藤 基行²、竹島 正³、富田 三樹生⁴、三野 進⁵、太田 順一郎⁶、佐藤 真弓⁷、早苗 麻子⁸、中島 直⁴

¹広島大学、²立命館大学、³川崎市精神保健福祉センター、⁴医療法人社団新新会多摩あおば病院、⁵みのクリニック、⁶岡山市こころの健康センター、⁷医療法人ひまわり佐藤まゆみメンタルクリニック、⁸萌クリニック

CS17-4 北海道における強制不妊手術－精神科医の関与とその責任－

○伊藤 哲寛

NPO法人「こぼと」嘱託医
(代読)三野 進 みのクリニック

CS17-5 優生政策において精神科医の果たした役割-收容政策との関連で-

○富田 三樹生
多摩あおば病院

〈コーディネーター〉 三野 進 みのクリニック
岡崎 伸郎 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

10:40~12:40 **委員会シンポジウム 18（ECT・rTMS 等検討委員会）**
ECTにおける特殊な症例での対策と対応

司会：中村 満 医療法人社団翠会成増厚生病院
奥村 正紀 医療法人社団八葉会大石記念病院

CS18-1 ECT周術期身体管理 -DVT、PTEを中心に-

○栗本 直樹^{1,2}

¹医療法人藤樹会滋賀里病院精神科、²医療法人藤樹会滋賀里病院麻酔科

CS18-2 児童・思春期精神科におけるmECTの有効性・安全性および特殊性について

○上蘭 礼、海老島 健、岩本 圭祐
都立小児総合医療センター

CS18-3 ECTのインフォームド・コンセント (informed consent: IC) 取得が困難な症例

○鮫島 達夫¹、奥村 正紀²、大西 良¹、緒方 宗玄¹、東 靖人¹、入澤 誠¹、三野原 義光¹、中村 満³
¹医療法人浜江堂油山病院、²医療法人社団八葉会大石記念病院、³医療法人社団翠会成増厚生病院

CS18-4

ECTとインフォームド・コンセント ICが困難な事例について～法律的観点から

○浅田 真弓

丸ビルあおい法律事務所

〔指定発言〕

中村 満

医療法人社団翠会成増厚生病院

〈コーディネーター〉 鮫島 達夫
萩原 朋美医療法人浜江堂油山病院
信州大学医学部精神医学講座

13:40～14:40 教育講演 33

司会：齊藤 幸子 関西医科大学医学部精神神経科学講座

EL33

「注意欠如・多動ADH」特性のある成人症例への精神分析的アプローチについて

○福本 修

長谷川病院、きしろメンタルクリニック





9月20日（月・祝） J会場（国立京都国際会館 1階 スワン）

8:30~10:30 **委員会シンポジウム 19**（オンライン精神科医療検討作業班）
精神科領域でのオンライン診療の進展：現状と今後

司会：米田 博 大阪精神医学研究所新阿武山病院
榎戸 芙佐子 医療法人社団和敬会谷野呉山病院

CS19-1 **オンライン診療を取り巻く政策動向**

○吉村 健佑
千葉大学医学部附属病院

CS19-2 **オンライン診療や遠隔モニタリングを活用した近未来の精神科医療の展望：臨床研究のレビューを中心に**

○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

CS19-3 **てんかん診療における遠隔医療の現状**

○中里 信和
東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野

CS19-4 **オンライン精神科医療をめぐる日本精神神経学会の取り組み**

○稲垣 中^{1,2}
¹青山学院大学、²日本精神神経学会オンライン精神科医療検討作業班

〈コーディネーター〉 吉村 健佑 千葉大学医学部附属病院
岸本 泰士郎 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

10:40~12:40 **シンポジウム 54**
精神科医のためのてんかん臨床の最前線

司会：山田 了士 岡山大学大学院精神神経病態学
田所 ゆかり 愛知医科大学精神科学講座

S54-1 **精神科医も知っておきたい、新しいてんかんの定義・分類**

○谷口 豪¹、宮川 希¹、加藤 昌明²
¹国立精神・神経医療研究センター病院、²むさしの国分寺クリニック

S54-2 **新規抗てんかん薬の臨床的有用性**

○栗田 紹子
北海道大学病院精神科神経科

S54-3 **現代のてんかん治療：外科治療は最後の手段ではない**

○小野 智憲
国立病院機構長崎医療センターてんかんセンター

S54-4 **高齢者のてんかんを診るために—診断治療のポイント—**

○伊藤 ますみ
上善神経医院

S54-5 てんかんの心理教育

○西田 拓司
静岡てんかん・神経医療センター

〈コーディネーター〉 山田 了士 岡山大学大学院精神神経病態学
谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院

13:40~15:40 **委員会シンポジウム 20 (男女共同参画推進委員会)**
ともに働きやすい社会へ—女性精神科医のさらなる活躍をめざす—

司会：榎戸 芙佐子 医療法人社団和敬会谷野呉山病院
布施 泰子 茨城大学保健管理センター

CS20-1 女性医師が働き続けるということ—ある女性精神科医の場合—

○三原 伊保子
医療法人りぼん・りぼん三原デイケア+クリニックりぼん・りぼん

CS20-2 学術分野における男女共同参画の推進：実態分析とこれからの課題

○安藤 久美子
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

CS20-3 家事労働における昭和的男性の特異性

○兼本 浩祐
愛知医科大学精神科学講座

CS20-4 ケア責任の分配から考える働きやすさ—私たちは何を見落としがちなのか

○平山 亮
大阪市立大学

〈コーディネーター〉 加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック
安藤 久美子 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

15:50~17:50 **シンポジウム 55**
精神医学とアール・ブリュット

司会：平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
木下 利彦 関西医科大学医学部精神神経科学講座

S55-1 精神医学とアール・ブリュットが交差する時：PCNアール・ブリュットシリーズを通じて

○平野 羊嗣
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S55-2 統合失調症の世界

○木下 利彦¹、上野 千穂²
¹関西医科大学医学部精神神経科学講座、²京都市児童福祉センター

S55-3 「アール・ブリュット」の歴史 誰がなぜそれを求めるのか？

○保坂 健二郎
滋賀県立美術館



S55-4

精神疾患患者のアート活動を仕事にする

○原田 啓之

医療法人清明会障害福祉サービス事業所PICFA

〈コーディネーター〉 平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
木下 利彦 関西医科大学医学部精神神経科学講座

9月20日（月・祝） K会場（国立京都国際会館 1階 アネックス1）

8:10～10:10

シンポジウム 56

日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション

公務員の働き方改革と精神科健康管理医（産業医）の役割

司会：吉田 常孝 外務省
 築島 健 元 札幌市総務局職員部

- S56-1 霞が関の過酷な労働環境、若手の離職、採用難とその背景、国家公務員から見た健康管理医への期待
 ○千正 康裕
 株式会社千正組
- S56-2 外務省における働き方改革と精神科健康管理医の役割と課題
 ○吉田 常孝、阿部 尚
 外務省
- S56-3 裁判所での精神科健康管理医の業務
 ○篠原 隆
 最高裁判所事務総局人事局
- S56-4 都庁働き方改革
 ○林 洋子
 東京都職員共済組合事務局事業部健康増進課
- S56-5 公務員のメンタルヘルス（総論）～働き方改革から最も遠い人々の心の健康は？～
 ○築島 健
 元 札幌市総務局職員部
- 〈コーディネーター〉 吉田 常孝 外務省
 築島 健 元 札幌市総務局職員部

10:40～11:40 教育講演 34

司会：堤 俊仁 医療法人適水会つつみクリニック

- EL34 仏像を診る ～癒しの造形に隠された人体現象を探る～
 ○宇高 不可思
 住友病院脳神経内科



11:40～12:40 教育講演 35

司会：上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科分子・機能領域精神神経科学

- EL35 入門編；うつ病を例に、精神疾患における Precision Medicine の可能性を学んでみる1時間
 ○加藤 正樹
 関西医科大学医学部精神神経科学講座





13:40~15:40

シンポジウム 57

自動車運転と向精神薬や精神疾患との関連 —現状と今後の方向性—

司会：松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学
中林 哲夫 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

S57-1

薬物療法中の精神疾患患者における運転適性判断—証左から見えてくるもの

○岩本 邦弘
名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野

S57-2

産業医として運転禁止薬、運転注意薬服用者にどのように対応してきたか

○須磨 一剛
東邦ガス株式会社人事部安全健康グループ

S57-3

日本における抗うつ薬の使用実態の推移：NDBオープンデータから読み解く

○吉村 健佑
千葉大学医学部附属病院

S57-4

認知障害からみた自動車運転

○三村 將
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学医学部精神医学
中林 哲夫 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
岩本 邦弘 名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野

16:10~18:10

シンポジウム 58

日本医師会認定産業医制度産業医学研修会対象セッション

職場のメンタルヘルス

司会：寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

S58-1

職業性ストレスとレジリアンス

○井上 猛
東京医科大学精神医学分野

S58-2

睡眠・睡眠覚醒リズムと職業性ストレス・プレゼンティズム

○志村 哲祥
東京医科大学

S58-3

リワークと復職維持

○寺尾 岳
大分大学医学部

S58-4

リワークにおける心理療法

○平川 博文¹、坂井 亜果里²、山下 瞳¹、石井 啓義¹、寺尾 岳¹
¹大分大学医学部精神神経医学講座、²医療法人哲世会鶴見台病院

〈コーディネーター〉 寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座
井上 猛 東京医科大学精神医学分野

9月20日（月・祝） L会場（国立京都国際会館 1階 アネックス2）

8:30~9:30 教育講演（古典シリーズ）1

司会：須田 史朗 自治医科大学精神医学講座

CEL1 ヴィルヘルム・グリージンガー：統合失調症・双極性障碍「中間領域」の病態を考える —グリージンガーとクレペリンの方法論を対比して—

○加藤 敏
小山富士見台病院

9:30~10:30 教育講演（古典シリーズ）2

司会：細田 眞司 こころの診療所細田クリニック

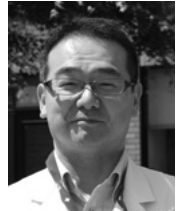
CEL2 クルト・シュナイダー：伝統的精神医学の思想 クルト・シュナイダーの「臨床精神病理学」

○古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学

10:40~11:40 教育講演（古典シリーズ）3

司会：内海 健 東京藝術大学保健管理センター

CEL3 カール・ヤスパース：臨床を考えるヤスパース：精神病理が苦手な先生方に

○佐藤 晋爾^{1,2}
¹筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター精神科、²茨城県立中央病院

11:40~12:40 教育講演（古典シリーズ）4

司会：佐藤 晋爾 筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター精神科

CEL4 ウジェーヌ・ミンコフスキー：生命（いのち）と精神（こころ）

○内海 健
東京藝術大学保健管理センター



13:40~14:40 教育講演 (古典シリーズ) 5

司会：梅本 愛子 大阪精神医療センター司法精神医学診療部

CEL5 呉秀三：呉秀三の『私宅監置の実況』と『わが国における精神病に関する最近の施設』

○金川 英雄^{1,2}

¹独立行政法人国立病院機構埼玉病院精神科、²昭和大学精神科



14:40~15:40 教育講演 (古典シリーズ) 6

司会：鷺塚 伸介 信州大学医学部精神医学教室

CEL6 エミール・クレペリン：クレペリンの時代からの一世紀

○渡辺 哲夫

南嶺会勝連病院



15:50~16:50 教育講演 (古典シリーズ) 7

司会：上野 千穂 京都市第二児童福祉センター診療所

CEL7 カール・グスタフ・ユング：主体の定位・対立・反転と心理療法の変化

○河合 俊雄

京都大学こころの未来研究センター



16:50~17:50 教育講演 (古典シリーズ) 8

司会：中川 伸 山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学分野

CEL8 ジークムント・フロイト：フロイトの嘆きと驚き — 治癒を目指すものと妨げるもの —

○新宮 一成^{1,2}

¹奈良大学、²京都産業大学



9月20日（月・祝） M会場（国立京都国際会館 2階 Room I）

8:30~10:30

シンポジウム 59**ω3不飽和脂肪酸と精神疾患**

司会：中込 和幸 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S59-1 核内受容体PPAR αと統合失調症病態メカニズムの関連

○前川 素子
国立研究開発法人理化学研究所脳神経科学研究センター

S59-2 気分障害におけるω3系多価不飽和脂肪酸の役割

○浜崎 景
富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座

S59-3 ω3不飽和脂肪酸と認知症

○上原 隆
金沢医科大学・精神神経科学

S59-4 統合失調症、精神病発症リスク状態とOmega-3多価不飽和脂肪酸

○樋口 悠子^{1,2,3}、住吉 太幹³、立野 貴大^{1,2}、中島 英^{1,2}、伊藤 博子¹、水上 祐子¹、
Anh Le Thi Phuong^{1,2}、高橋 努^{1,2}、鈴木 道雄^{1,2}

¹富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、²富山大学アイドリング脳科学研究センター、
³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

〈コーディネーター〉 樋口 悠子 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座
住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

10:40~12:40

Fellowship Award Symposium3**Case Vignette (Reactive attachment disorder)**

Chairperson : Ai Aoki Department of Health Policy, National Center for Child Health and Development, Japan

FAS3-1 The Current Status of Child Abuse and Neglect in Thailand

○Genis Seera
Samutsakhon general hospital, Ministry of Public Health, Thailand

FAS3-2 Trauma and Recovery

○Navin Dadlani
Child and adolescent psychiatrist, Canberra Hospital, Canberra, ACT, Australia

FAS3-3 Disinhibited Social Engagement Disorder

○Chun Lun Lai
Department of Child and Adolescent Psychiatry, Castle Peak Hospital, China

FAS3-4 The current status of child abuse and other relevant issues in Japan

○Yoshinori Sasaki
Psychiatry Behavioral Science Forensic Mental Health Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan

〈Coordinators〉 Toshitaka Ii : Aichi Medical University
Tsuayoshi Akiyama : NTT Medical Center, Tokyo



13:40~15:40 **Fellowship Award Symposium4**
Case Vignette (Reactive attachment disorder)

Chairperson : Yuka Kudo Gunma Hospital, Japan

FAS4-1 Child abuse: Neplease Senario

○Bikram Kafle
Department of Psychiatry, Devdaha Medical College, Kathmandu University, Nepal

FAS4-2 Child Abuse Situation, Prevention, and Treatment in Taiwan: A Case Report

○Ching-hua Julie Lee
Tsaotun Psychiatric Center, Ministry of Health and Welfare, Taiwan

FAS4-3 Child Abuse: A risk Factor for Detrimental Mental Health and Intergenerational Transmission

○Muftau Mohammed
Department of Psychiatry, Federal Neuropsychiatric Hospital, Kaduna, Nigeria

FAS4-4 Approaches to Reactive Attachment Disorder in Japan

○Kosuke Okazaki
Department of Psychiatry, Psychiatric Institute, Nara Medical University, Japan

〈Coordinators〉 Toshitaka Ii : Aichi Medical University
Tsuyoshi Akiyama : NTT Medical Center, Tokyo

15:50~17:50 **シンポジウム 60**
認知行動療法 10年の軌跡と今後の展望

司会 : 大野 裕 大野研究所
川崎 康弘 金沢医科大学

S60-1 認知行動療法研修とその波及効果

○耕野 敏樹¹、中川 敦夫²
¹岡山県精神科医療センター、²慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

S60-2 認知行動療法の基盤スキルと普及・均てん化に向けたマニュアル整備

○藤澤 大介、中川 敦夫、菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部

S60-3 認知行動療法における多職種連携のあり方

○菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S60-4 医療現場における認知行動療法実装の課題とその工夫

○中川 敦夫^{1,2}
¹慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、²慶應義塾大学病院臨床研究推進センター

〔指定発言〕

徳山 明広
財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

田中 増郎
厚生労働省

〈コーディネーター〉 中川 敦夫 慶應義塾大学医学部
藤澤 大介 慶應義塾大学医学部



9月20日 (月・祝) N会場 (国立京都国際会館 2階 Room J)

8:30~9:30

教育講演 36

字幕(英→日)

司会：平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学
香月 あすか 社会福祉法人二丈福祉会

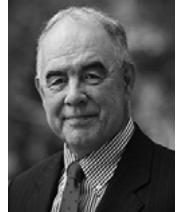
EL36

Five Decades of Research on Schizophrenia: The Ascendance of the Glutamatergic Synapse

○Joseph Coyle^{1,2}

¹Harvard Medical School, ²McLean Hospital

〈コーディネーター〉 平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学



9:30~10:30

教育講演 37

字幕(英→日)

司会：平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

EL37

A comparison of diagnostic requirements for mental disorders in ICD-11 and DSM-5

○Michael First

Columbia University Medical Center

〈コーディネーター〉 平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学



10:40~11:40

教育講演 38

字幕(英→日)

司会：平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

EL38

A Systems and Computational Neuroscience Perspective of Cortical Dysfunction in Schizophrenia: from Ketamine to Novel Non-D2 Treatments

○John Krystal

Yale School of Medicine

〈コーディネーター〉 平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学



11:40~12:40

教育講演 39

字幕(英→日)

司会：嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座

EL39

ECT in the 21st century

○Colleen Loo

University of New South Wales, Australia

〈コーディネーター〉 嶽北 佳輝 関西医科大学医学部精神神経科学講座



13:40~14:40 **教育講演 40**

字幕(英→日)

司会：内田 裕之 慶應義塾大学医学部

EL40

The Search for Meaning in Cognitive Decline: Dignity Therapy in Mild Cognitive Impairment○David Mamo、○Patrick Barbara、○Fabian Bonello
Department of Psychiatry, Medical School, Mater Dei Hospital, Malta

〈コーディネーター〉 内田 裕之 慶應義塾大学医学部

14:40~15:40 **教育講演 41**

字幕(英→日)

司会：内田 裕之 慶應義塾大学医学部

EL41

Towards Precision Medicine in Psychiatry using Pharmacogenomics○Daniel Mueller
University of Toronto

〈コーディネーター〉 内田 裕之 慶應義塾大学医学部

15:50~17:50 **シンポジウム 61**

これからの精神医療における精神分析的な精神医学の役割

司会：浅田 護 浅田心療クリニック
水俣 健一 市立秋田総合病院**S61-1 日本精神分析的な精神医学会 趣旨と活動の紹介**○衣笠 隆幸
広島精神分析医療クリニック**S61-2 子どもの精神科診療における精神分析的なアプローチの適応—私たちの臨床体験をより豊かにするために—**○木部 則雄^{1,2}
¹こども・思春期メンタルクリニック、²白百合女子大学人間総合学部発達心理学科**S61-3 コンサルテーション・リエゾン精神医学**○木村 宏之
名古屋大学大学院医学系研究科**S61-4 精神分析的な精神療法の効果についての画像研究**○齊藤 幸子
関西医科大学医学部精神神経科学講座**〔指定発言〕**福本 修
代官山心理・分析オフィス



皆川 英明

広島市精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 衣笠 隆幸 広島精神分析医療クリニック
浅田 護 浅田心療クリニック
齊藤 幸子 関西医科大学医学部精神神経科学講座

9月20日（月・祝） ○会場（国立京都国際会館 2階 Room K）

8:30~10:30

シンポジウム 62

急性期精神科医療における患者のNew long stayの要因と防止プログラム

司会：伊豫 雅臣 千葉大学大学院医学研究院
 山口 創生 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S62-1 精神科長期入院患者の退院後の転帰に関するシステマティックレビュー

○佐藤 さやか¹、中西 三春²、小川 亮¹、阿部 真貴子^{1,4}、安間 尚徳^{1,3}、河野 稔明¹、五十嵐 百花¹、山口 創生¹

¹国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、²公益財団法人東京都医学総合研究所、
³東京大学大学院医学研究科社会医学専攻精神保健学分野、⁴東京都立産業技術大学院大学認知症・神経心理学講座

S62-2 New Long Stay防止プログラムの導入と実践、その効果

○渡邊 博幸
 医療法人学術会木村病院

S62-3 New Long Stayを防止するための保険診療を用いた早期介入プログラム

○木村 大
 国際医療福祉大学

S62-4 早期に退院する精神障害者における再入院と地域定着に影響する要因に関する縦断研究：中間報告

○山口 創生、小塩 靖崇、小池 純子、松長 麻美、小川 亮、菊池 安希子、藤井 千代
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部

S62-5 精神科入院患者の退院後における問題行動のリスク評価に関する研究

○菊池 安希子、山口 創生、小塩 靖崇、小池 純子、松長 麻美、小川 亮、藤井 千代
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部

〔指定発言〕

名雪 和美
 厚生労働省

藤田 潔
 医療法人静心会桶狭間病院藤田こころケアセンター

〈コーディネーター〉 伊豫 雅臣 千葉大学大学院医学研究院
 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

10:40~12:40

シンポジウム 63

作業療法・精神科リハビリテーションの現在

司会：石井 良平 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科、大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座（精神医学）
 吉村 匡史 関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科、関西医科大学総合医療センター精神神経科

S63-1 統合失調症のリハビリテーション・作業療法

○林 良太^{1,2}、稲富 宏之³、石井 良平^{2,4}、黒田 健治¹

¹医療法人杏和会阪南病院、²大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科、
³京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻リハビリテーション科学コース作業療法学講座、
⁴大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座（精神医学）



S63-2 地域在住認知症者のIADLに対するリハビリテーション

○田平 隆行
鹿児島大学医学部保健学科

S63-3 作業を基盤とした、地域に溶け込んだ介護予防

○横井 賀津志
大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科

S63-4 就労支援施設での精神科リハビリテーションを取り入れた支援体制

○芳賀 大輔
ワンモア豊中

S63-5 精神科医とリハビリテーション専門職との協働

○武田 雅俊^{1,2}
¹大阪河崎リハビリテーション大学、²仁明会精神衛生研究所

〈コーディネーター〉 石井 良平 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科、大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座（精神医学）
吉村 匡史 関西医科大学リハビリテーション学部作業療法学科、関西医科大学総合医療センター精神神経科

13:40~15:40 シンポジウム 64
統合失調症バイオマイカーとしてのMMN

司会：矢部 博興 福島県立医科大学
住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S64-1 ミスマッチ陰性電位に反映される統合失調症の時間統合機能異常

○志賀 哲也、平山 緑香、羽金 裕也、錫谷 研、佐藤 彩、森 湧平、高橋 雄一、戸田 亘、和田 知紘、落合 晴香、星野 大、刑部 有祐、堀越 翔、伊藤 典和、浅野 聡子、菅野 和子、大島 洋和、野崎 途也、疋田 雅之、板垣 俊太郎、三浦 至、松岡 貴志、矢部 博興
福島県立医科大学神経精神医学講座

S64-2 統合失調症のMMN

○荒木 剛、切原 賢治、永井 達哉、多田 真理子、臼井 香、藤岡 真生、越山 太輔、笠井 清登
東京大学医学部附属病院精神神経科

S64-3 精神病発症リスク状態におけるミスマッチ陰性電位と臨床的転帰との関連

○樋口 悠子^{1,2,3}、立野 貴大^{1,2}、中島 英^{1,2}、水上 祐子¹、住吉 太幹³、高橋 努^{1,2}、鈴木 道雄^{1,2}
¹富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、²富山大学アイドリング脳科学研究センター、³国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

〈コーディネーター〉 矢部 博興 福島県立医科大学
住吉 太幹 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

15:50~17:50 シンポジウム 65

経頭蓋直流刺激による精神分野における治療法開発の現状と展望

司会：住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部
菊知 充 金沢大学附属病院神経科精神科

- S65-1 **統合失調症の社会認知機能障害に対する経頭蓋直流刺激(tDCS)の効果**
○山田 悠至¹、稲川 拓磨¹、末吉 一貴²、和田 歩²、長谷川 由美²、平林 直次¹、白間 綾²、住吉 太幹²
¹国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院、
²国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
- S65-2 **臨床応用に向けたtDCSの認知機能への変調効果**
○池田 尊司^{1,2}
¹金沢大学子どものこころの発達研究センター、²大阪大学大学院連合小児発達学研究所
- S65-3 **経頭蓋直流電気刺激(tDCS)の気分、感情への影響**
○西田 圭一郎
関西医科大学医学部精神神経科学講座
- S65-4 **経頭蓋直流刺激を用いた発達性吃音症における発話流暢性の向上**
○橋本 龍一郎^{1,2}
¹東京都立大学、²昭和大学
- S65-5 **認知症に対する経頭蓋直流電気刺激**
○横井 優磨
国立精神・神経医療研究センター
- 〔指定発言〕**
石井 良平
大阪府立大学総合リハビリテーション学研究所
- 小坂 浩隆
福井大学医学系部門病態制御医学講座精神医学
- 〈コーディネーター〉 西田 圭一郎 関西医科大学医学部精神神経科学講座
住吉 太幹 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部